

抗炎症・鎮痒外用剤

デルマクリン[®]A 軟膏1%
DERMACRIN A Ointment 1%

デルマクリン[®] クリーム1%
DERMACRIN Cream 1%
グリチルレチン酸製剤

ハイデルマート[®] クリーム2%
HIDERMART Cream 2%

	デルマクリンA軟膏1%	デルマクリンクリーム1%	ハイデルマートクリーム2%
承認番号	22000AMX01550000	22000AMX01549000	22000AMX01552000
薬価収載	2008年6月	2008年6月	2008年6月
販売開始	1971年8月	1967年7月	1976年9月
再評価結果	1977年7月	1977年7月	1977年7月

貯法：室温保存
使用期限：外箱、容器に表示

【組成・性状】

販売名	デルマクリンA軟膏1%	デルマクリンクリーム1%	ハイデルマートクリーム2%
成分・含量 (1g中)	グリチルレチン酸 10mg		グリチルレチン酸 20mg
添加物	精製ラノリン、サラシミツロウ、白色ワセリン	白色ワセリン、ステアリアルアルコール、プロピレングリコール、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60、モノステアリン酸グリセリン、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル	
色・剤形	白色又はわずかに黄色を帯びた親油性軟膏	白色のクリーム	
識別コード	ODA	CD1	CH2

【効能・効果】

湿疹、皮膚痒痒症、神経皮膚炎

【用法・用量】

通常、症状により適量を1日数回患部に塗布または塗擦する。

【使用上の注意】

1. 副作用

過敏症：皮膚の刺激感等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

使用部位

眼科用として使用しないこと。

*【臨床成績】

1. 各種皮膚疾患に対するデルマクリン[®]クリーム1%の一般臨床試験（303例）の有効率は次のとおりである^{1~13}。

疾患名	有効率(%)	有効以上	やや有効以上
湿疹	68.0%	(87/128)	80.5% (103/128)
皮膚痒痒症	74.0%	(37/50)	88.0% (44/50)
皮膚炎	74.4%	(93/125)	81.6% (102/125)

2. デルマクリン[®]A軟膏1%の顔面皮膚炎に対する一般臨床試験

軽症から軽微の顔面皮膚炎患者31例を対象に、デルマクリン[®]A軟膏1%の有効性を検討した結果、落屑、皮膚乾燥、痒痒に対して改善効果が認められた¹⁴。

*【薬効薬理】

1. 抗炎症作用

- (1) グリチルレチン酸は、TPA誘導によるマウスの耳介浮腫を抑制する¹⁵。
- (2) ハイデルマート[®]クリーム2%は、DNFB誘導によるマウスの耳介腫脹を抑制する¹⁶。

2. 肥満細胞脱顆粒抑制作用

グリチルレチン酸は、ラットの肥満細胞を用いた*in vitro*の実験系において、肥満細胞からのヒスタミン遊離を抑制する¹⁷。

3. ホスホリパーゼA₂阻害作用

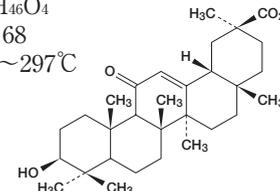
グリチルレチン酸は、*in vitro*の実験系において、アラキドン酸代謝系の初発酵素である炎症性ホスホリパーゼA₂の酵素活性を選択的に阻害する¹⁸。

4. 鎮痒作用

グリチルレチン酸は、サブスタンスP、PAR-2アゴニストによるマウス痒痒行動を抑制するとともに、サブスタンスPによるLTB₄産生を抑制する¹⁹。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：グリチルレチン酸 (glycyrrhetic acid)
化学名：3β-hydroxy-11-oxoolean-12-en-30-oic acid
分子式：C₃₀H₄₆O₄
分子量：470.68
融点：288~297℃
構造式：



性状：白色の結晶性の粉末で、におい及び味はない。ピリジンに溶けやすく、エタノール又はクロロホルムにやや溶けやすく、石油エーテルに溶けにくく、水にほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

軟膏・クリームを空气中に長時間放置すると変色することがある。

【包装】

- デルマクリンA軟膏1%
10g×20（アルミチューブ）
100g、500g（プラスチック容器）
- デルマクリンクリーム1%
10g×20（アルミチューブ）
100g、500g（プラスチック容器）
- ハイデルマートクリーム2%
10g×20（アルミチューブ）
500g（プラスチック容器）

*【主要文献】

- 1) 久保 緑：新薬と臨牀, 17, 217, 1968.
- 2) 師井庸夫：皮膚と泌尿, 25, 237, 1963.
- 3) 中島春美：治療, 49, 1225, 1967.
- 4) 菅原光雄 ほか：新薬と臨牀, 17, 1516, 1968.
- 5) 山内 隆：新薬と臨牀, 18, 591, 1969.
- 6) 鈴木千代吉 ほか：新薬と臨牀, 18, 875, 1969.
- 7) 岡野敬多 ほか：新薬と臨牀, 18, 133, 1969.
- 8) 針生敬三：皮膚, 11, 176, 1969.
- 9) 奥田宣弘 ほか：産科と婦人科, 45, 656, 1978.
- 10) 森田 清：小児科診療, 33, 1259, 1970.
- 11) 太藤重夫 ほか：ミヤリサン製薬(株)社内資料
- 12) 島川富昌：ミヤリサン製薬(株)社内資料
- 13) 菊池芳夫 ほか：ミヤリサン製薬(株)社内資料
- 14) 山田裕道 ほか：診療と新薬, 48, 1073, 2011.
- 15) Inoue, H., et al.: Br. J. Pharmacol., 96, 204, 1989.
- 16) 門野岳史 ほか：臨牀と研究, 88, 931, 2011.
- 17) Imanishi, N., et al.: Biochem. Pharmacol., 38, 2521, 1989.
- 18) Shimoyama, Y., et al.: Biol. Pharm. Bull., 24, 1004, 2001.
- 19) Akasaka, Y., et al.: Eur. J. Pharmacol., 670, 175, 2011.

*【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
ミヤリサン製薬株式会社 学術部
〒114-0016 東京都北区上中里1丁目10番3号
電話 03-3917-1191 FAX 03-3940-1140

株式会社 ミノファーゲン製薬 くすり相談窓口
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
電話 03-5909-2322 FAX 03-5909-2132

販売元 **miyarisán** ミヤリサン製薬株式会社
東京都北区上中里1丁目10番3号

販売提携 **U/T** 株式会社 ミノファーゲン製薬
東京都新宿区西新宿3-2-11

製造販売元 **モリヤ** 摩耶堂製薬株式会社
神戸市西区玉津町居住65-1